

議長選挙に当たり、所信を述べさせていただきます。

私は小学校5年生の時、ボーイスカウトに入隊致しました。ボーイスカウトは入隊の時に誓いをたてます。スカウトは誠実である、礼儀正しい等12ヶ条のルールを守ること、他の人々を助けること、体を強くし心を健やかに徳を養うことの3つです。良き社会人としての心構えを培うものです。以来、私は一日一善をモットーとしており、議員活動においてもボーイスカウトの精神を心掛けております。

市議会は、市政発展と市民生活の向上のため、市民の皆様の声に耳を傾け、焼津市の意思決定機関としてその機能を十分に果たす必要があります。

私は、この一年間、議会運営委員会と議会改革特別委員会の委員長として、スムーズな議会運営や、市議会における課題の解決に努めてまいりました。議会改革では17期から引き継いだ事項や皆さまから提案していただいた多くの課題の解決に向け力を尽くしてまいりました。しかしながら、全ての解決に至った訳ではございません。今後も議会改革を推進していく必要性を深く感じております。

さて、焼津市においては、様々な課題があると認識しています。

まず、老朽化した公共施設などの対応についてです。新庁舎やターントクル子ども館の建設が始まり、市立病院の建て替え、大井川防災広場の整備や豊田公民館の移設計画もあり、焼津市は、大きく変わろうとしております。市当局が推進してきたシティプロモーションや公共施設マネジメントなど、その取り組みに注視していかなければならないと思っております。

次に、あと半年を切った東京オリンピック・パラリンピックは、交流人口拡大のチャンスと捉え、モンゴル国選手の受け入れ体制や、その後の交流も大変重要な課題となります。

次に、地場産業である漁業はサバ漁が今年の夏から秋の水揚げは皆無でありました、サクラエビやしらす漁も不漁により漁業者はもとより加工業者にとっても死活問題となっております。国・県と協力したより一層の支援策が必要であり、議会ができることを模索していくことも必要ではないかと思っております。

また、震災等により地価の影響を受けた区画整理事業、人口減少問題、商店街等の活性化、去年は台風により大きな被害がありましたが、自然災害への対応など、焼津市が取り組むべき課題が山積しております。

私は、市民の皆様が、生まれ育ち、住んで良かったと言える街づくりをしていきたいと思っております。市民の皆様の声に耳を傾け、明日のやいづのために、我々議員が市政発展と市民生活の向上を目指し、実のある議論をつくす事ができますよう、議会運営をして参りたいと思っております。

皆様の御賛同を賜りますようお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。